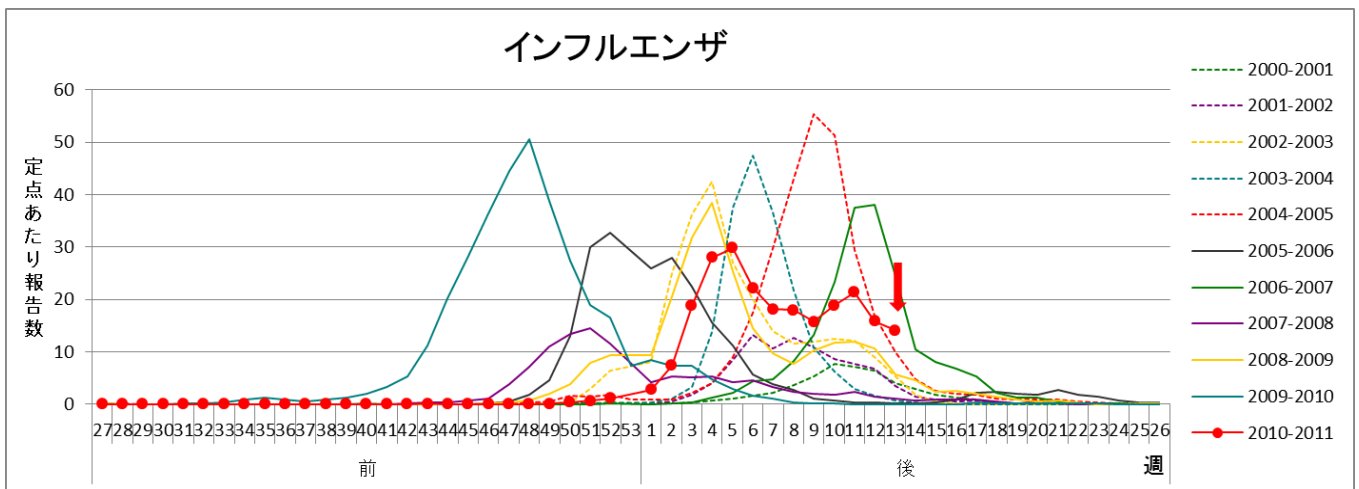


インフルエンザ情報 2011 年 第 13 週（3 月 28 日～4 月 3 日）

最新の流行状況

第 13 週（3 月 28 日～4 月 3 日）の県内の定点医療機関（84 点）からの患者数は 1,187 人（定点あたり 14.13 人）で、前週の 1,329 人（定点あたり 15.82 人）より減少しました。倉敷市（18.44 人）、備前地域（13.60 人）、備中地域（10.25 人）、真庭地域（23.00 人）美作地域（24.20 人）では多い傾向が続いています。

ひきつづき、インフルエンザ注意報が発令中です。体調管理に注意するとともに、手洗い・うがいなどの感染予防対策を徹底しましょう。体調がすぐれないときは、早めに医療機関を受診してください。

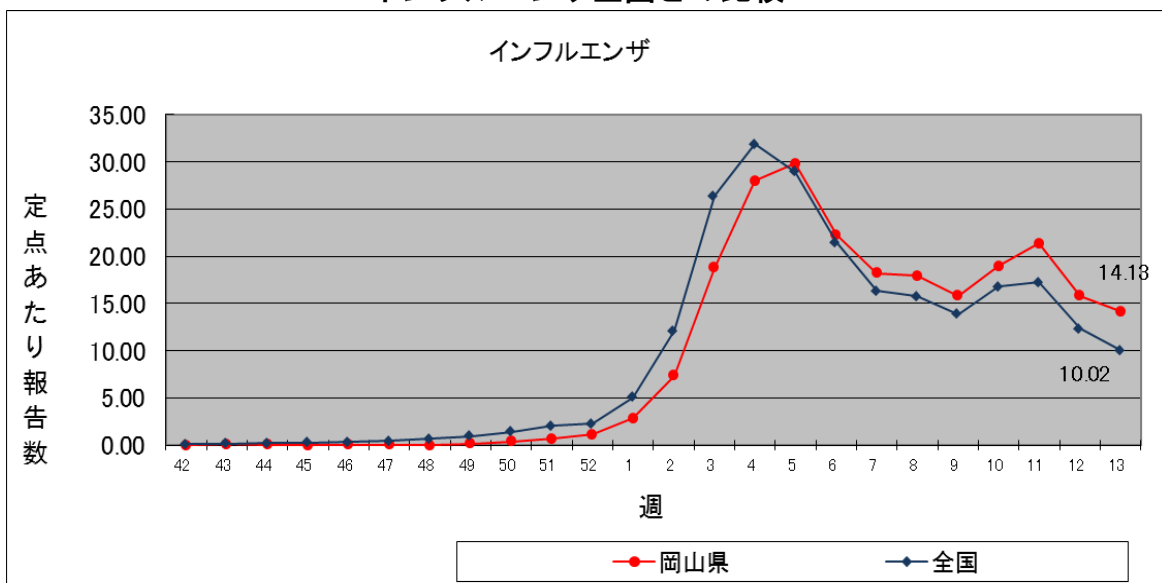


※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

流行の推移（全国との比較）

◆第 13 週（3 月 28 日～4 月 3 日）の県内の定点医療機関（84 定点）からの患者数は、1,187 人（定点あたり 14.13 人）と、前週より減少しました。全国の定点あたりの患者数も減少しています。（12.33 → 10.02 人）

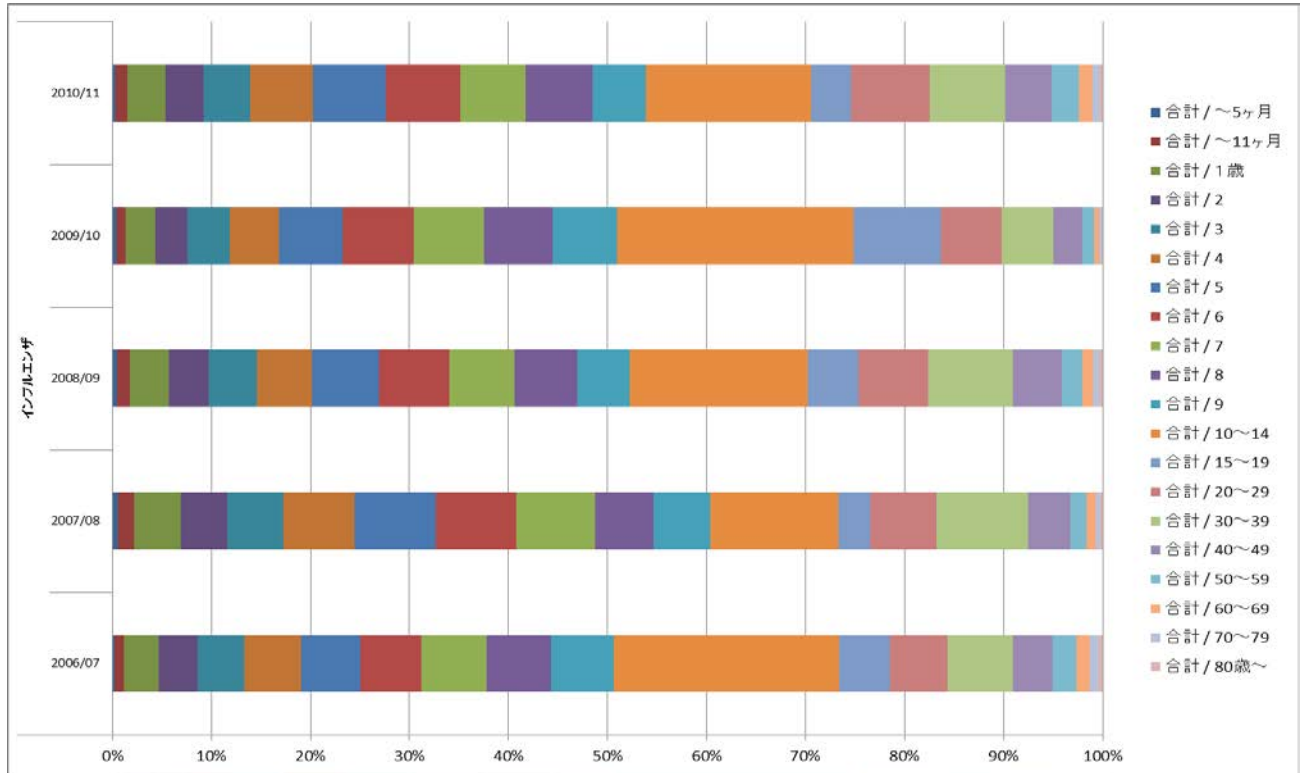
インフルエンザ全国との比較



インフルエンザ発生状況

今シーズン（2010 / 2011）の年齢階層別累計の割合は10～14歳の報告が一番多く（16.6%）、次に20～29歳（7.9%）、30～39歳（7.6%）となっています。

インフルエンザ 年齢別発生状況（2010/2011）
（2011年 第13週現在）



インフルエンザ シーズン別患者報告数（2010/2011）
（2011年 第13週現在）

